



令和元年5月16日
統合幕僚監部

平成30年度自衛隊の災害派遣及び不発弾等処理実績について

1 全般

平成30年度の災害派遣の派遣件数は443件、総派遣人員は延べ約119万人でした。そのうち、大規模な災害派遣[※]としては、①平成30年7月豪雨に係る災害派遣、②平成30年北海道胆振東部地震に係る災害派遣、③山林火災に係る災害派遣及び④豚コレラに係る災害派遣を実施しました。

なお、延べ約119万人という総派遣人員は、東日本大震災に係る災害派遣があった平成23年度以降で最大規模となりました。

また、不発弾等処理の実績については、陸上において発見された不発弾等の処理件数は1,480件、処理重量は約53トン、海上における機雷の処理は実績なし、海上におけるその他の爆発性危険物の処理個数は4,456個、処理重量は約2.8トンでした。

※ ここでいう大規模な災害派遣とは、派遣規模約5,000人以上をいう。

2 平成30年度の大規模な災害派遣

(1) 平成30年7月豪雨に係る災害派遣

陸上自衛隊は、陸上総隊司令官の指揮の下、陸上自衛隊中部方面隊を中心に陸上自衛隊の部隊を一体的に運用するとともに、海上及び航空自衛隊の部隊等を含め、自衛隊として人員延べ約957,000人、艦艇延べ約150隻及び航空機延べ約340機の派遣規模で、人命救助活動等を44日間実施しました。

(2) 平成30年北海道胆振東部地震に係る災害派遣

陸上自衛隊は、陸上総隊司令官の指揮の下、陸上自衛隊北部方面隊を中心に陸上自衛隊の部隊を一体的に運用するとともに、海上及び航空自衛隊の部隊等を含め、自衛隊として人員延べ約211,000人、艦艇延べ約20隻及び航空機延べ約230機の派遣規模で、人命救助活動等を39日間実施しました。

(3) 山林火災に係る災害派遣

平成30年度は、8県12件の山林火災に係る消火活動を実施しました。派遣規模は人員延べ約5,300人及び航空機延べ約120機、車両延べ約320両及びでした。

(4) 特定家畜伝染病（豚コレラ）に係る災害派遣

自衛隊として初めて豚コレラの発生に対応し、3県8件の豚コレラに係る殺処分等の支援を実施しました。派遣規模は人員延べ約6,200人及び車両延べ約960両でした。

添付書類：平成30年度自衛隊の災害派遣及び不発弾等処理実績について

JOINT STAFF PRESS RELEASE

<https://www.mod.go.jp/js/>

平成30年度自衛隊の災害派遣及び 不発弾等処理実績について



令和元年5月16日
統合幕僚監部



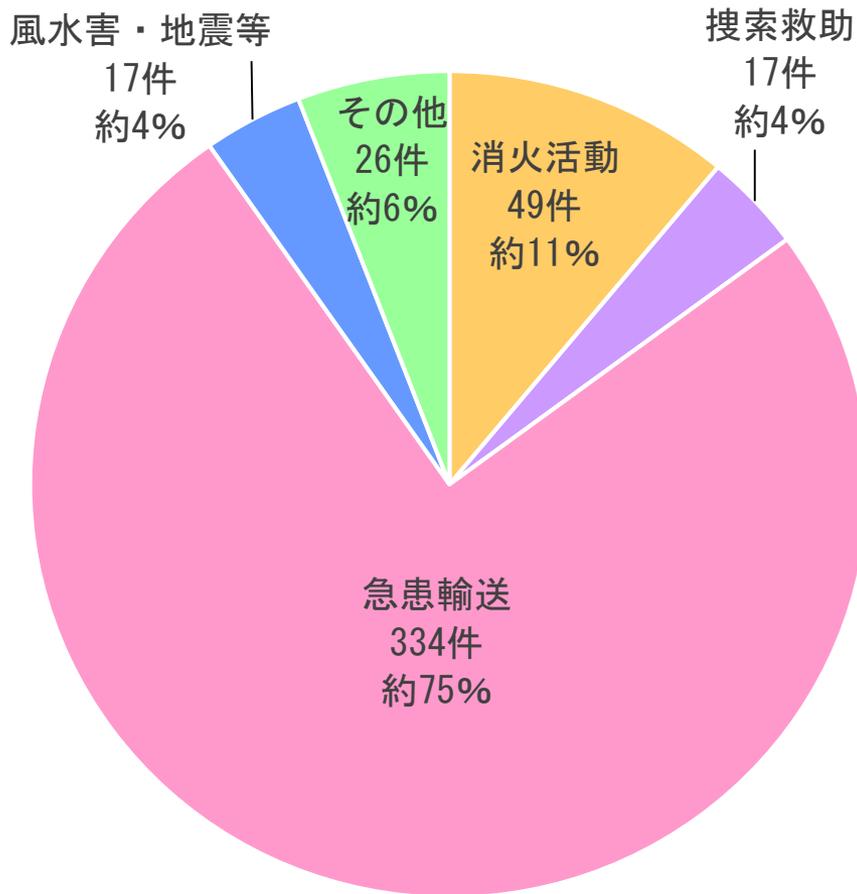
1 災害派遣



平成30年度の災害派遣の実績

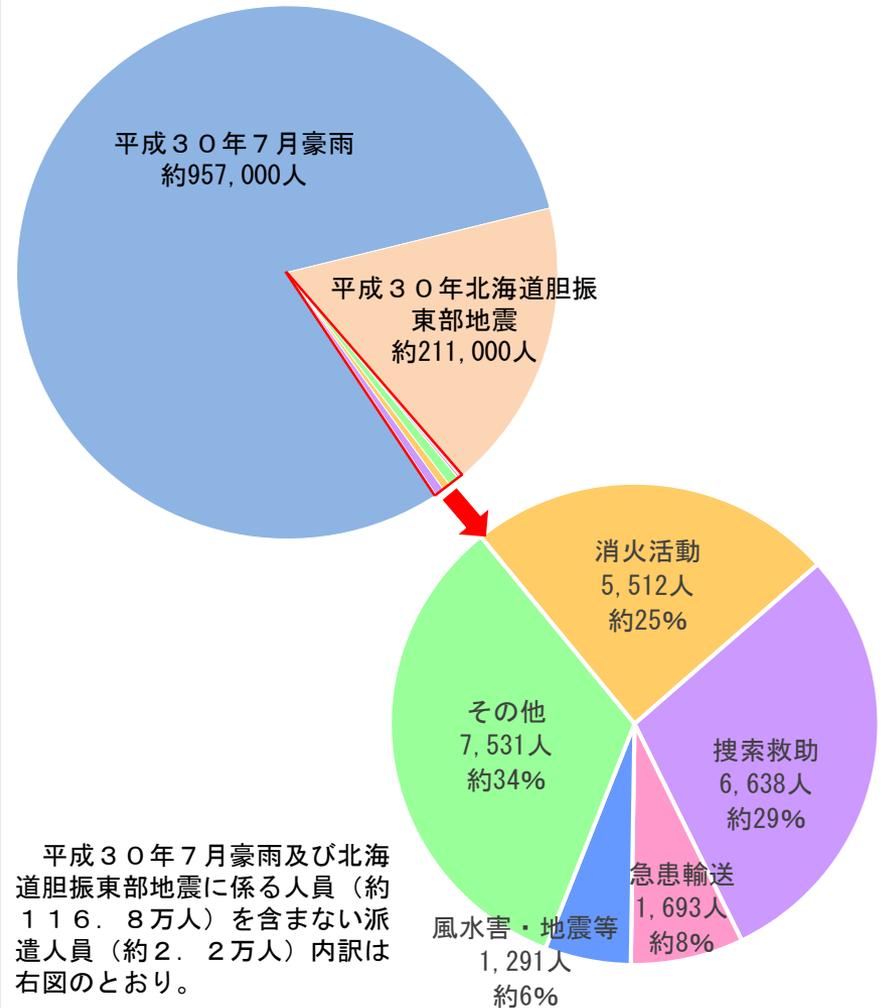
① 災害派遣件数別内訳

総件数：443件



② 災害派遣人員別内訳

総派遣人員：約119万人





平成30年度に実施した大規模な災害派遣

件名	派遣人員	時期	活動地域	活動内容
平成30年7月豪雨に係る災害派遣	約957,000人	7月6日(金)～8月18日(土) 派遣件数: 12件(1府7県)	<ul style="list-style-type: none"> 京都府 兵庫県 愛媛県 高知県 岡山県 広島県 山口県 福岡県 	<ul style="list-style-type: none"> 人命救助 生活支援 等 ※別紙第1参照
平成30年北海道胆振東部地震に係る災害派遣	約211,000人	9月6日(木)～10月14日(日)	北海道	<ul style="list-style-type: none"> 人命救助 生活支援 等 ※別紙第2参照
山林火災に係る災害派遣	約5,300人	4月2日(月)～3月26日(火) 派遣件数: 12件(8県)	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県 栃木県 埼玉県 和歌山県 秋田県 群馬県 長野県 宮崎県 	<ul style="list-style-type: none"> 空中消火活動 地上消火活動 ※別紙第3参照
特定家畜伝染病(豚コレラ)に係る災害派遣	約6,200人	12月25日(月)～3月30日(土) 派遣件数: 8件(3県)	<ul style="list-style-type: none"> 長野県 岐阜県 愛知県 	殺処分等の支援 ※別紙第4参照

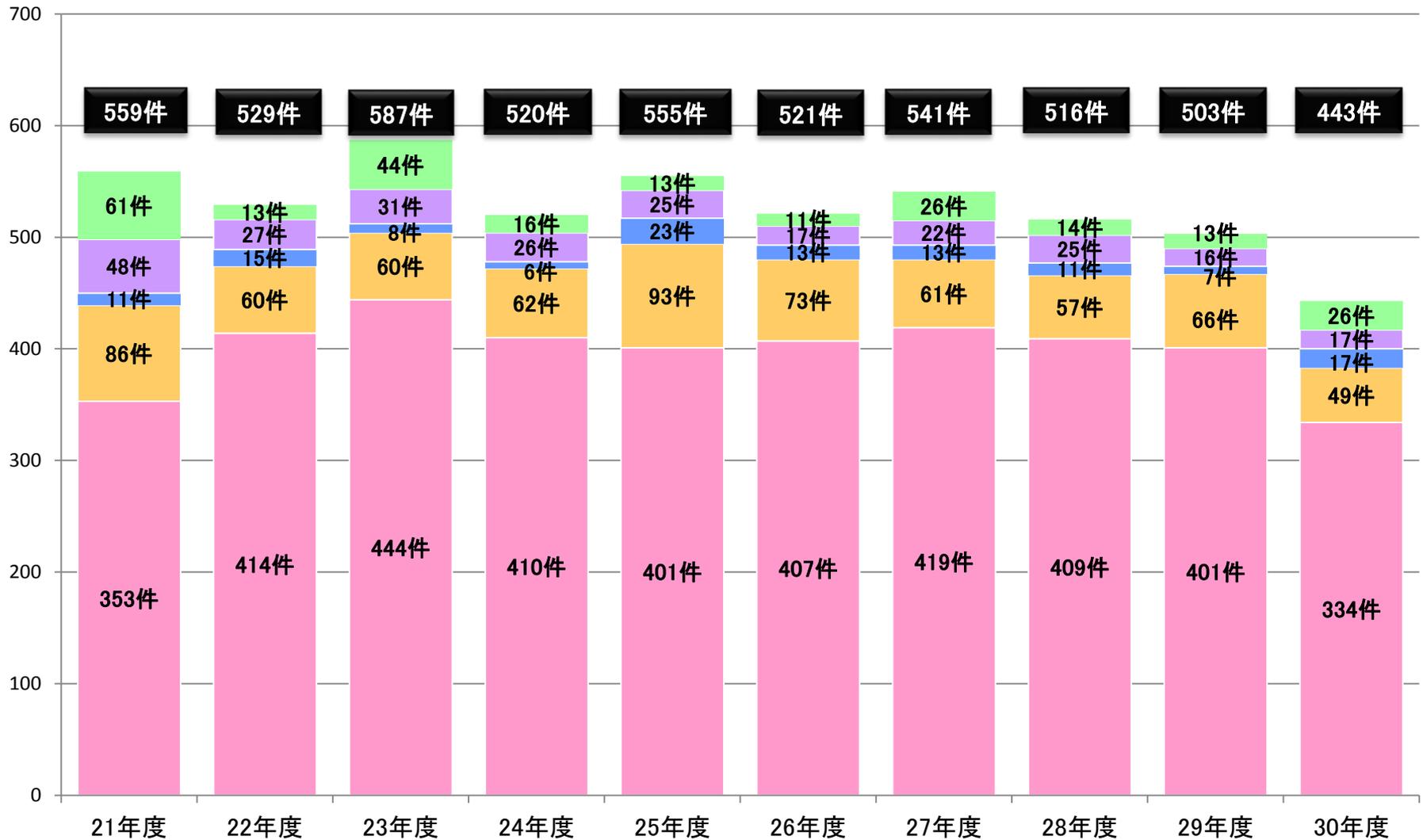
※ここでいう大規模な災害派遣とは、派遣規模約5,000人以上をいう。





災害派遣件数の推移(過去10年間)

急患輸送 消火活動 風水害・地震・噴火等 搜索救助 その他の災害派遣

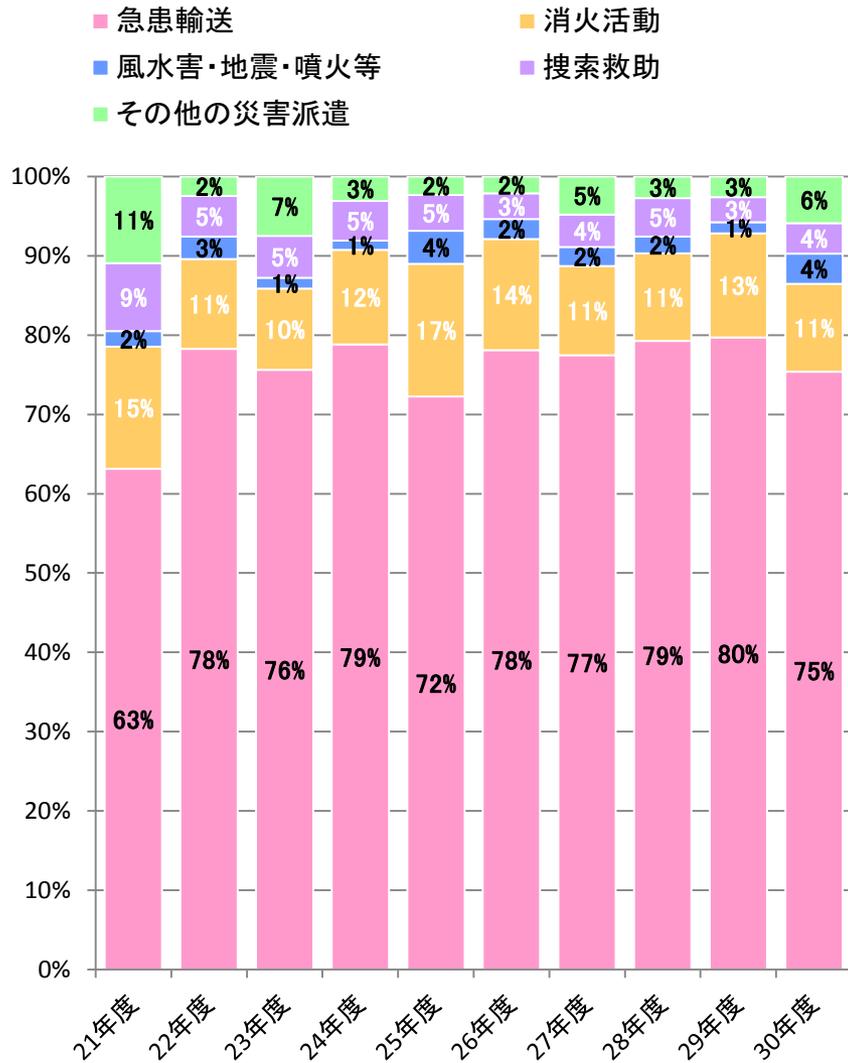


※平成29年度の件数について、考え方を整理し修正（501件→503件）

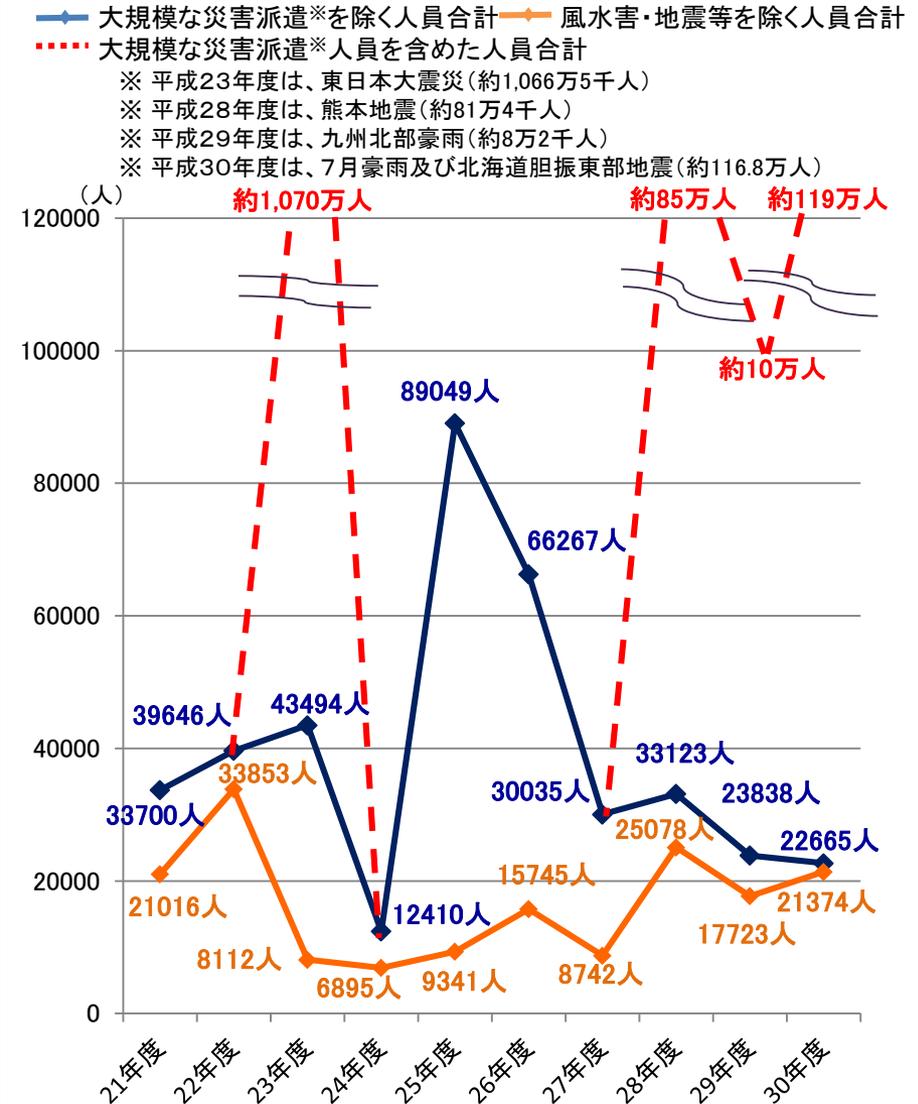


派遣内訳及び派遣人数の推移(過去10年間)

① 派遣内訳の推移



② 派遣人数の推移





風水害・地震等に係る災害派遣実績

平成30年度実績： 17件

主要実績

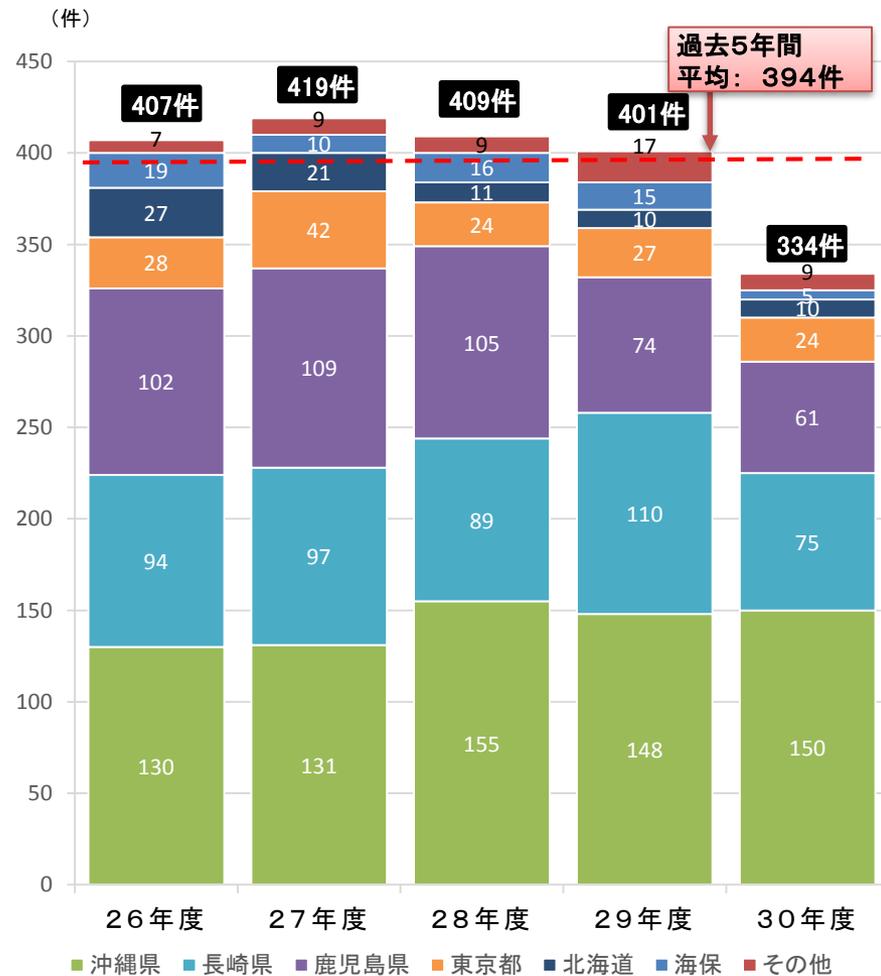
件名	時期	活動地域	活動部隊
大阪府北部を震源とする地震に係る災害派遣	6月18日(月)～6月26日(火)	大阪府	陸自：第3師団(千僧)等 海自：第23航空隊(舞鶴)等 空自：第6航空団(小松)等
平成30年7月豪雨に係る災害派遣	7月6日(金)～8月18日(土)	・京都府 ・高知県 ・福岡県 ・広島県 ・岡山県 ・愛媛県 ・山口県 ・兵庫県	陸自：第13旅団(海田市)等 海自：呉地方隊(呉)等 空自：中部航空方面隊(入間)等
平成30年北海道胆振東部地震に係る災害派遣	9月6日(木)～10月14日(日)	北海道	陸自：第7師団(東千歳)等 海自：大湊地方隊(大湊)等 空自：第2航空団(千歳)等



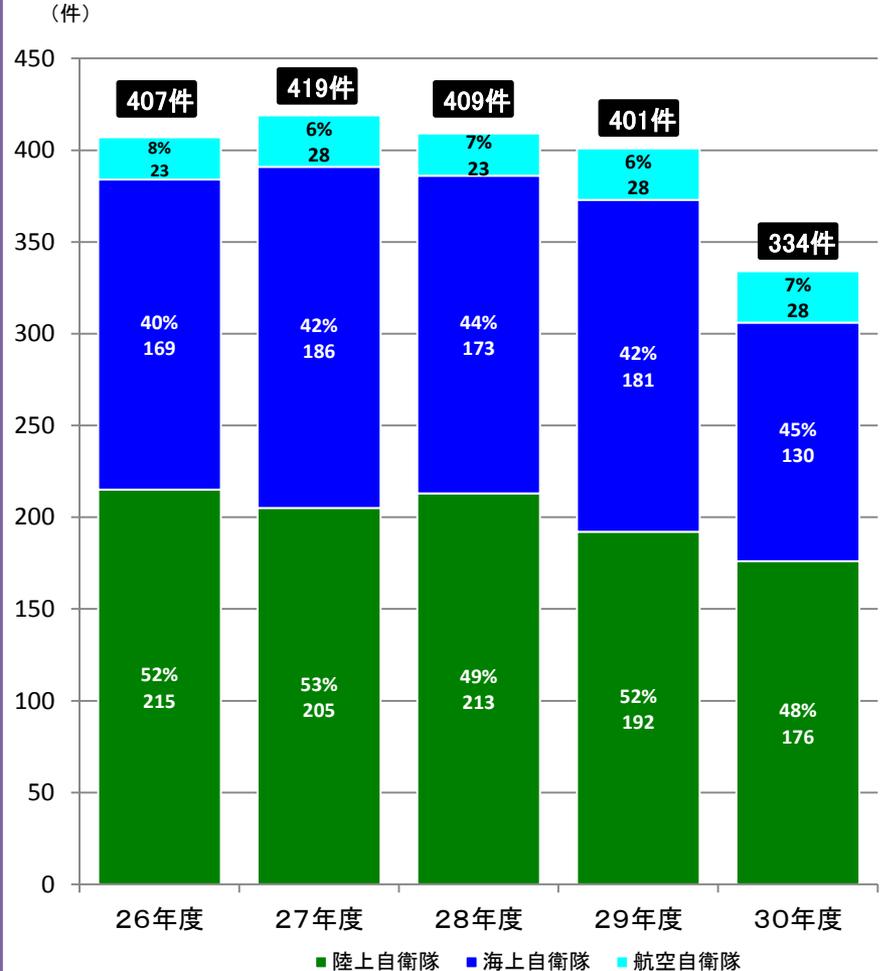
急患輸送実績

■ 30年度総件数： 334件
 総件数は、過去5年間の平均と比べ減少

① 件数及び要請都道府県等別実績推移



② 陸・海・空自衛隊別実績推移



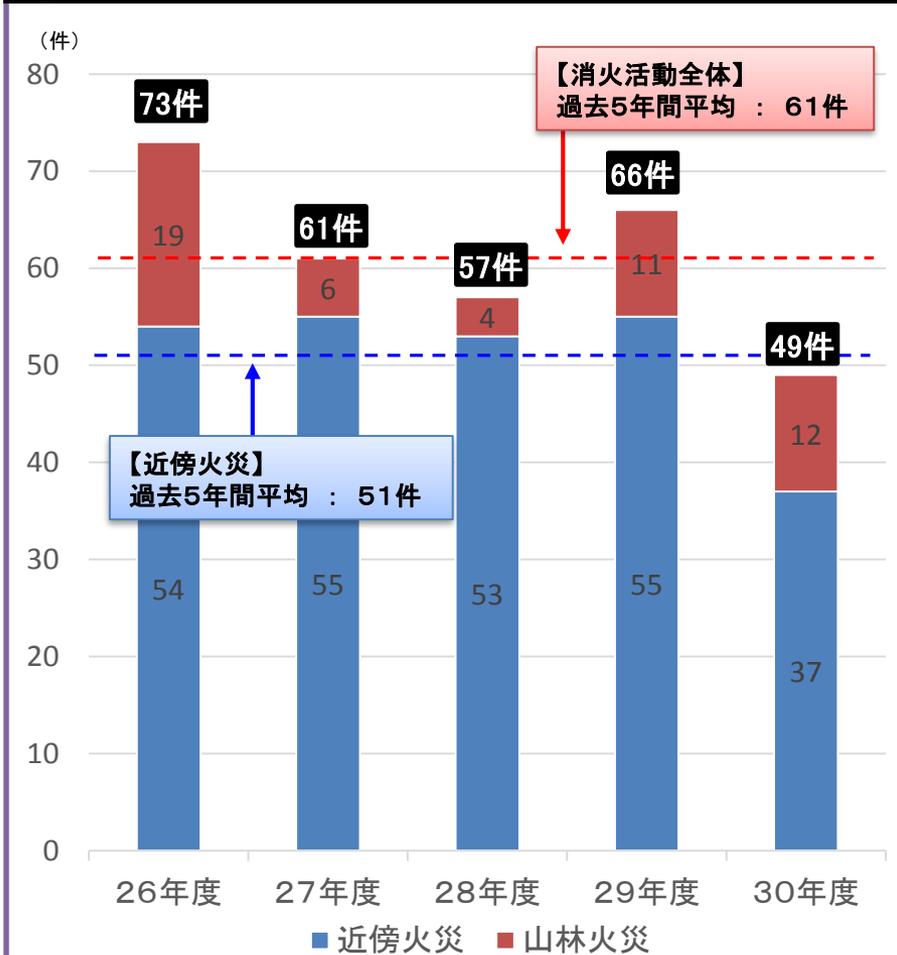


消火活動実績

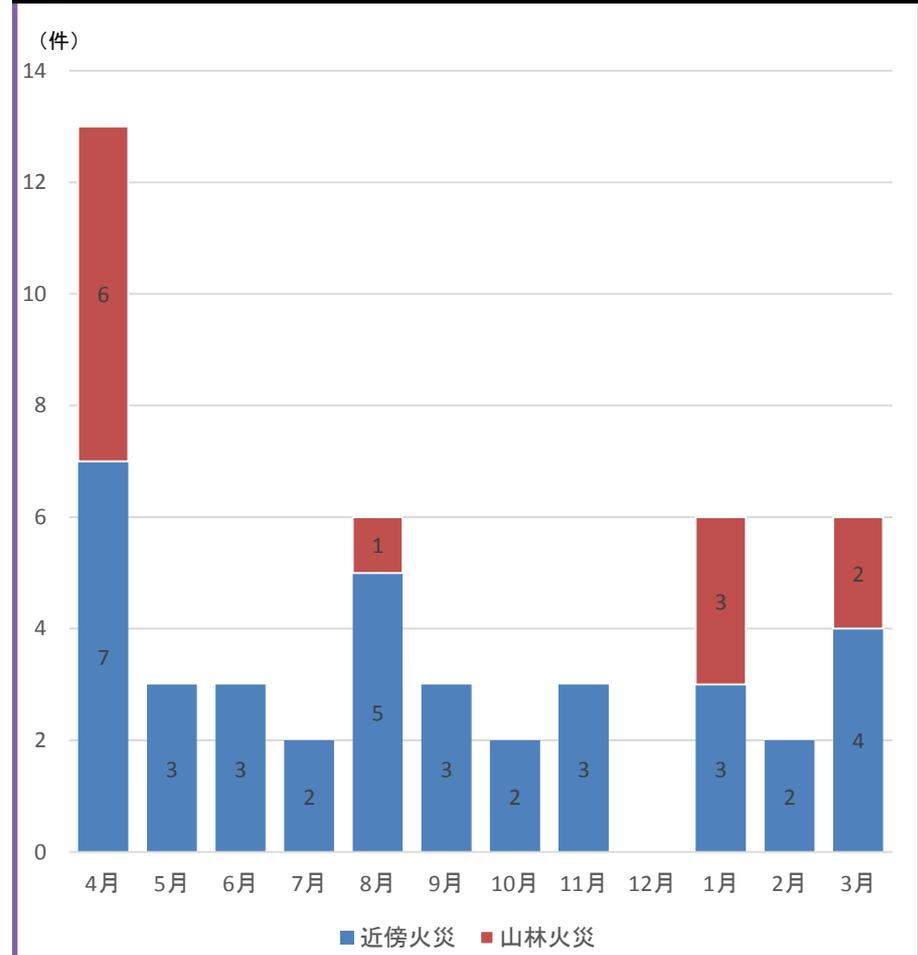
■ 30年度総件数：49件

- 総件数は、過去5年間平均より12件減
- 特に近傍火災の件数が減少

① 件数年度別実績推移(過去5年間)



② 平成30年度の活動件数月別実績



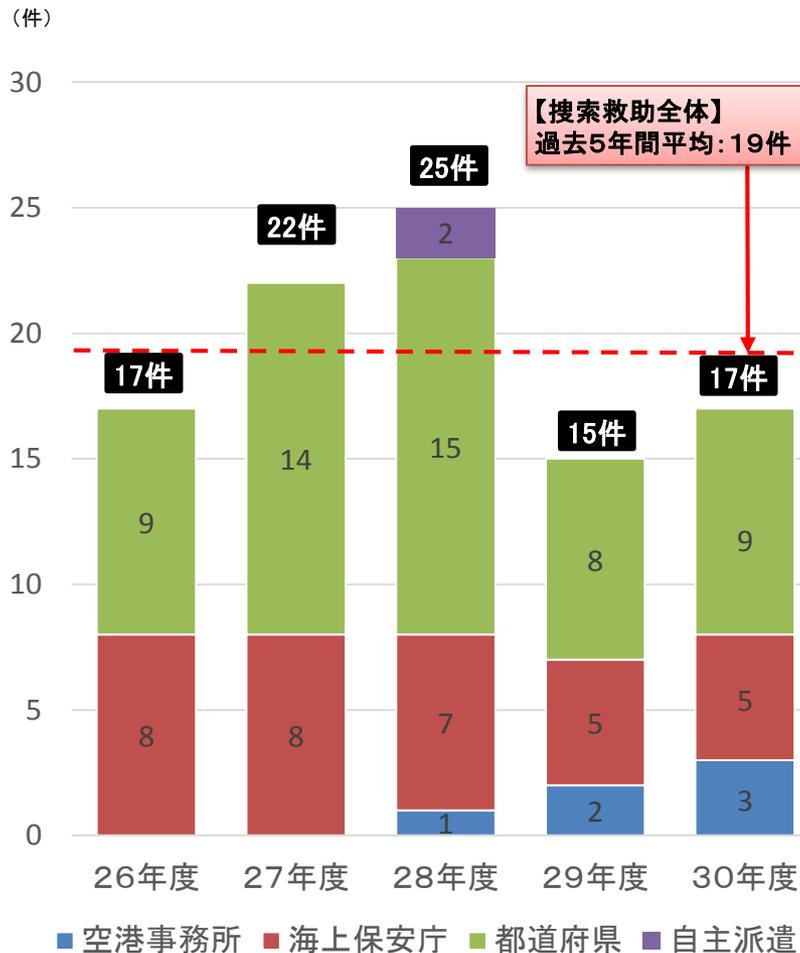


搜索救助実績

■ 30年度総件数： 17件

- 件数は、前年度とほぼ同数
- 活動内容についても、ほぼ例年と同様

① 件数年度別実績推移(過去5年間)



② 平成30年度の要請機関別実績 : 17件

	件数	要請元	種類	活動部隊
都道府県	9件	大分県知事 北海道知事 宮城県知事 群馬県知事 高知県知事	・行方不明者 搜索 ・行方不明機 搜索	陸自: 第41普通科連隊(別府)、第18普通科連隊(真駒内)、第2施設団(船岡)、第2師団(旭川)、第48普通科連隊(相馬原)、第7特科連隊(東千歳)、第50普通科連隊(高知) 等
海上保安庁	5件	第三管区、 第五管区、 第十管区、 第十一管区 海上保安本部長	・行方不明船舶 搜索 ・行方不明機 搜索	海自: 第1航空群(鹿屋)、第4航空群(厚木)、第24航空隊(小松島)、第31航空群(岩国)、第22航空隊(大村) 等 空自: 警戒航空隊(浜松)、浜松救難隊、芦屋救難隊、新田原救難隊 等
空港事務所	3件	東京空港事務所長	行方不明機 搜索	空自: 第3航空団(三沢)、警戒航空隊(浜松)、那覇救難隊、新潟救難隊、百里救難隊、松島救難隊 等



2 不発弾等処理



陸上において発見された不発弾等処理実績の推移

■ 全国：処理件数 1,480件、処理重量 約53トン

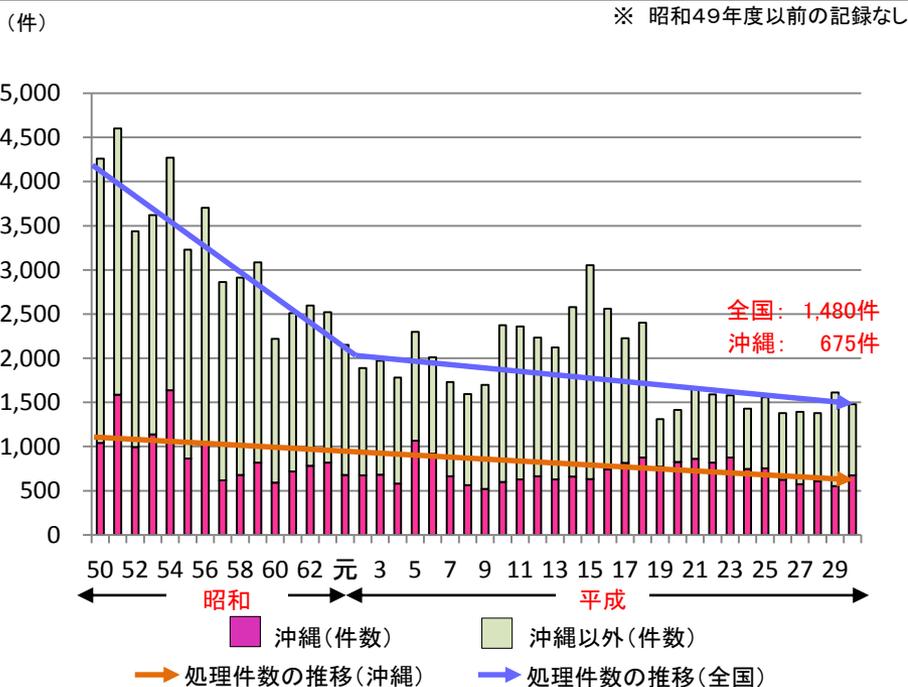
- 記録のある昭和50年度以降、戦後の時間経過に伴い、**処理件数・処理重量ともに減少**
- **平成以降、全体としての処理件数は概ね一定**

■ 沖縄：処理件数 675件、処理重量 約20トン

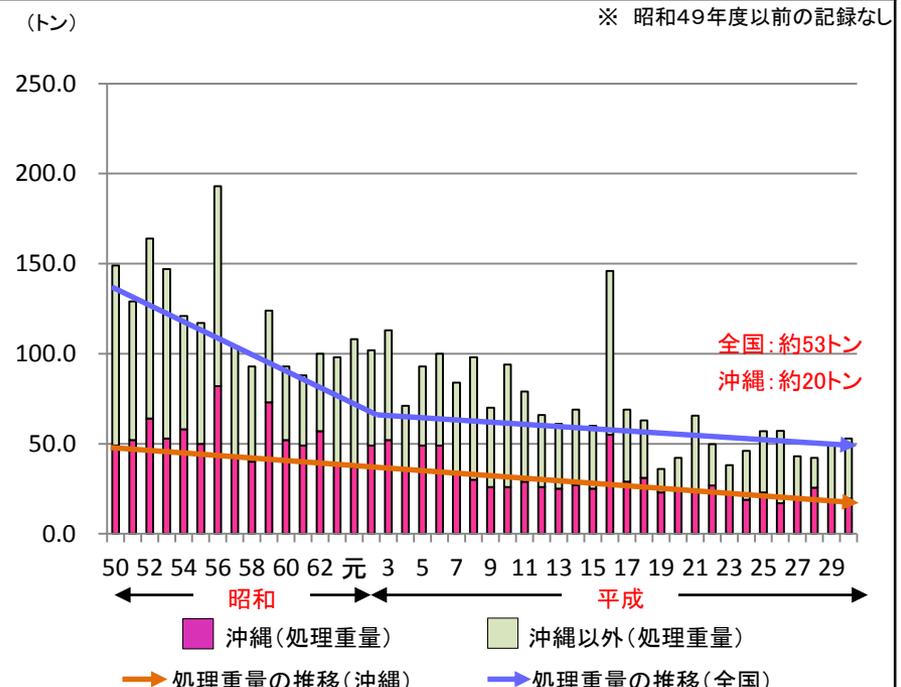
- 記録のある昭和50年度以降、沖縄県では**処理件数及び処理重量ともに減少**
- 処理件数及び処理重量ともに**沖縄県の全国に占める割合が大きく、平成30年度は処理件数の約46%、処理重量の約38%**

(処理件数の全国比は、昭和50年度～平成20年度平均が約33%に対し、平成21～30年度平均が約47%)

① 不発弾等処理件数の推移



② 不発弾等処理重量の推移





海上における機雷等処理実績の推移

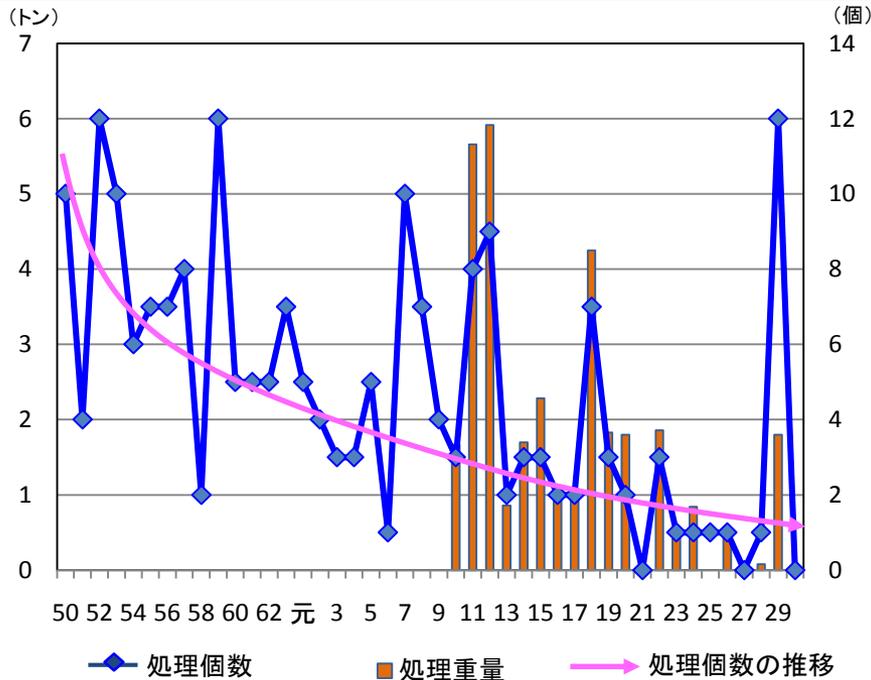
■ 機雷：実績なし

- 記録のある昭和50年度以降、戦後の時間経過に伴い、処理個数は年度ごと異なるが、処理重量は減少傾向
- 21年度、27年度及び30年度以外は、毎年度処理実績あり

■ その他の爆発性危険物(魚雷、爆雷、爆弾、砲弾等)：処理個数 4, 456個、処理重量 約2. 8トン

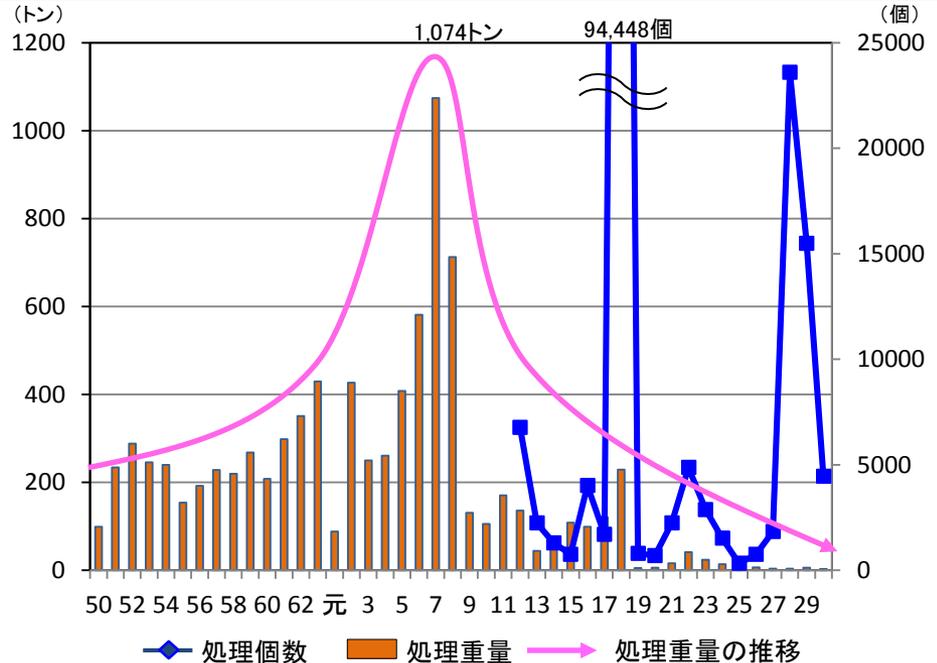
- 処理重量は、阪神・淡路大震災の港湾復旧作業時に大量の爆発性危険物が発見された平成7～8年度をピークとして、平成9年度以降は低い水準で推移
 - 処理個数は、年度による変動が大きく、港湾工事において大量に発見されるケース(18年度:舞鶴西港)があり、28年度は横須賀港の工事において大量の砲弾等を発見※
- ※ 28年度に計26, 037個を発見(未処理分を含む。)

① 機雷の処理個数及び重量の推移



※ 昭和49年度以前の記録なし
 ※ 平成9年度以前の処理重量に関する記録なし

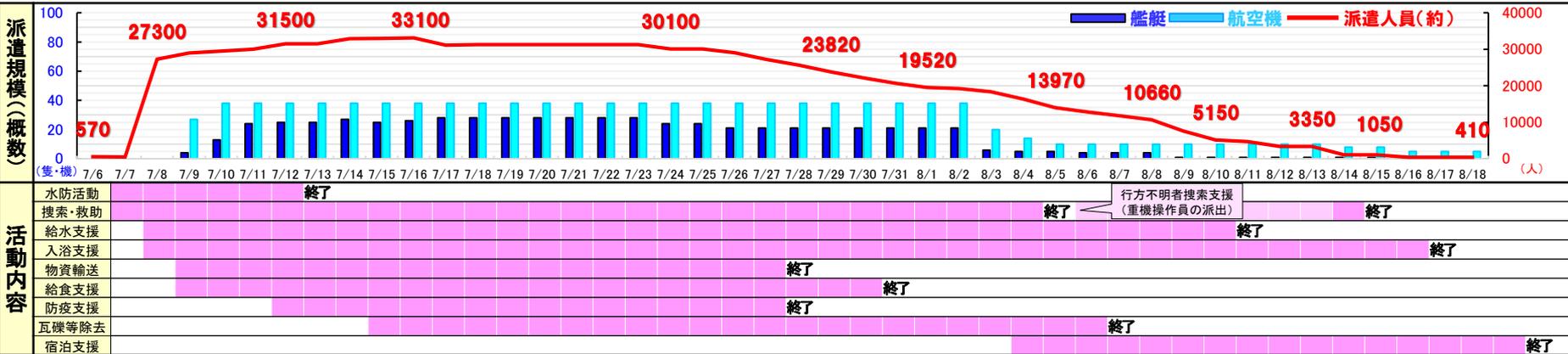
② その他の爆発性危険物の処理個数及び重量の推移



※ 平成7～8年度は、阪神・淡路大震災の港湾復旧作業において砲弾等が大量に発見されたため、処理重量が大
 ※ 平成18年度は、舞鶴西港の浚渫工事において、旧軍小火器弾が大量に発見されたため、処理個数が大
 ※ 昭和49年度以前の記録なし
 ※ 平成11年度以前の処理個数に関する記録なし

平成30年7月豪雨に係る災害派遣

- 6月28日(木)から7月8日(日)にかけての記録的な大雨、特に7月6日(金)から8日(日)にかけては1府10県に特別警報が発表され、広島県、岡山県、愛媛県などの西日本から東海地方を中心に土砂災害などにより甚大な被害が発生
- 7月6日(金)以降、**1府7県から合計12件の災害派遣要請があり、人命救助活動等を実施**
- 8月18日(土)、**災害派遣撤収要請を受け、全ての災害派遣活動が終了(活動期間:44日間)**
- 7月11日(水)~31日(火)、**即応予備自衛官を招集、310名が活動(東日本大震災及び熊本地震に続き3回目)**
- 7月15日(日)~8月18日(土)、**広島県及び岡山県において、民間船舶「はくおう」による入浴支援等を実施(熊本地震に続き2回目)**
- 自衛隊の活動規模は、**最大人員約33,100名、航空機約40機及び艦艇等約30隻**



活動実績(延べ数)	
水防活動	土のう約5,200袋
人命救助・孤立者救助	2,284名
給水支援	約19,000ト
入浴支援	約94,000名
物資輸送	水: 182,512本 食料: 74,027食 燃料: 125.5kl
給食支援	約20,590食
道路啓開	約39.8km
防疫支援	約127.3ha
がれき等除去	タンク約14,000台
宿泊支援	約420名

【広島県】(7/6-8/14)

- ・広島市: 人命救助等、給水支援、入浴支援、瓦礫等除去
- ・江田島市: 給水支援、入浴支援、瓦礫等除去
- ・海田町: 人命救助等、給水支援、瓦礫等除去
- ・熊野町: 人命救助等、給水支援、入浴支援、道路啓開、瓦礫等除去
- ・坂町: 人命救助等、給水支援、入浴支援、瓦礫等除去
- ・東広島市: 人命救助等、瓦礫等除去
- ・呉市: 人命救助等、給水支援、入浴支援、道路啓開、瓦礫等除去
- ・竹原市: 人命救助等、給水支援、入浴支援、道路啓開、瓦礫等除去
- ・三原市: 人命救助等、給水支援、入浴支援、瓦礫等除去
- ・尾道市: 人命救助等、給水支援、入浴支援
- ・安芸高田市: 人命救助等
- ・府中町: 瓦礫等除去

【岡山県】(7/6-8/18)

- ・岡山市: 人命救助等
- ・高梁町: 人命救助等、給水支援
- ・倉敷市: 人命救助等、給水支援、入浴支援、宿泊支援、道路啓開、瓦礫等除去
- ・井原市: 人命救助等
- ・総社市: 人命救助等
- ・新見市: 給水支援、入浴支援
- ・玉野市: 宿泊支援

【兵庫県】(7/8)

- ・宍粟市: 人命救助等

【京都府】(7/6-7/12)

- ・京都市: 水防活動
- ・綾部市: 人命救助等
- ・舞鶴市: 人命救助等

【愛媛県】(7/7-8/15)

- ・松山市: 人命救助等、給水支援
- ・宇和島市: 人命救助等、給水支援、入浴支援、給食支援、道路啓開、瓦礫等除去
- ・大洲市: 人命救助等、給水支援、入浴支援、瓦礫等除去
- ・今治市: 人命救助等
- ・西予市: 人命救助等、給水支援、入浴支援、道路啓開、瓦礫等除去
- ・上島町: 給水支援

【高知県】(7/6-7/19)

- ・安芸市: 人命救助等
- ・四万十市: 人命救助等、道路啓開
- ・大月町: 人命救助等、給水支援、道路啓開
- ・宿毛町: 給水支援、道路啓開

平成30年7月豪雨に係る災害派遣の活動状況

人命救助(広島県尾道市)



行方不明者捜索(広島県呉市)



ため池点検調査支援(広島県上空)



人命救助(愛媛県松山市)



浄水プラント輸送支援(愛媛県宇和島市)



防疫支援(愛媛県西予市)



孤立者救助(岡山県倉敷市真備町)



がれきの除去(岡山県倉敷市真備町)

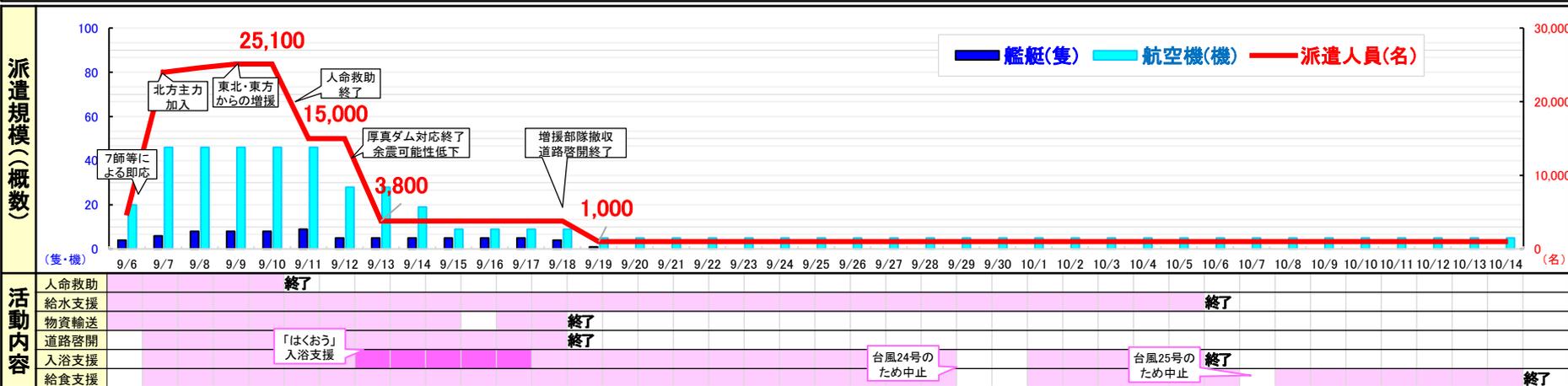


民間船舶「はくおう」を活用した入浴支援等



平成30年北海道胆振東部地震に係る災害派遣

- 9月6日(木)0307頃、北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度7の地震の発生に伴い、北海道知事からの要請があり、人命救助活動等を実施
- 10月14日(日)、災害派遣撤収要請を受け、全ての災害派遣活動が終了(活動期間:39日間)
- 9月8日(土)～23日(日)、即応予備自衛官を招集、255名が活動(平成30年7月豪雨に続き4回目)
- 9月13日(木)～9月17日(月)、苫小牧港において、民間船舶「はくおう」による入浴支援等を実施(平成30年7月豪雨に続き3回目)
- 自衛隊の活動規模は、最大人員約25、100名、航空機46機及び艦艇等9隻



内容	累計
人命救助	46名
道路啓開	約7,900m
給水支援	約1,200 t
入浴支援(うち「はくおう」)	約24,100名(約1,550名)
給食支援	約167,000食



平成30年北海道胆振東部地震に係る災害派遣の活動状況

人命救助



道路啓開



給水活動



厚真ダムにおける流木除去



給食支援



救助犬による行方不明者の捜索



山林火災に係る災害派遣

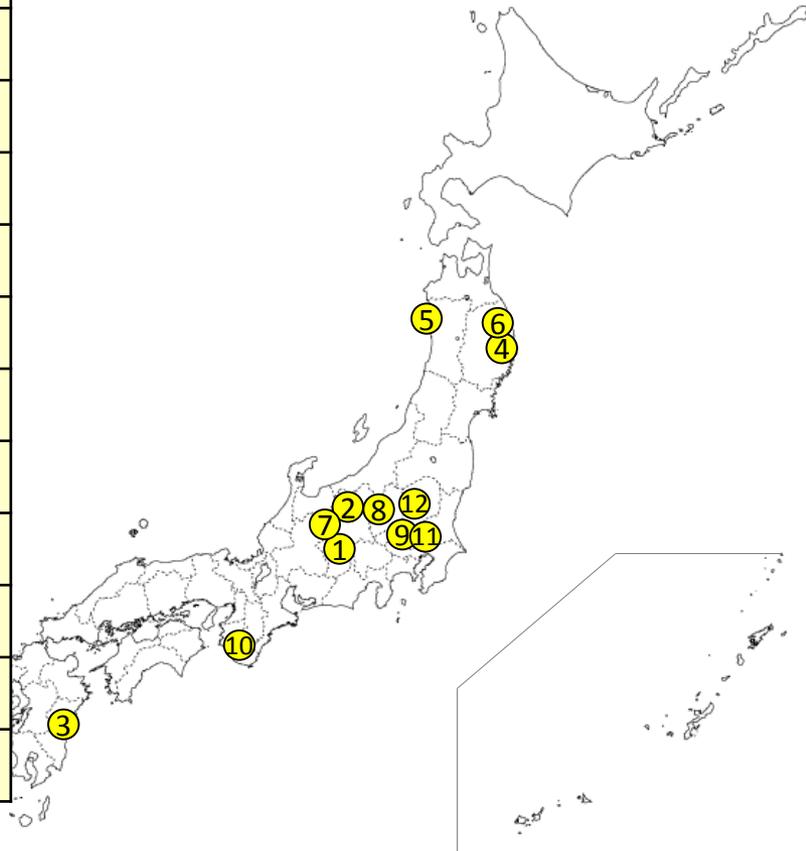
概要

- 30年度は計12回(8コ県)の山林火災の発生に伴う消火活動を実施
- そのうち4月に半数の6回を実施

主要内容

自衛隊航空機(ヘリコプター)による空中消火、地上部隊による地上消火等

番号	実施時期	場 所	主要対処部隊 (放水量)
①	4月2日(月)~4月3日(火)	長野県飯田市	陸自:第13普通科連隊等(約55t)
②	4月6日(金)	長野県長野市	陸自:第13普通科連隊等(約5t)
③	4月12日(木)	宮崎県美郷町	陸自:第8師団等(約465t)
④	4月12日(木)	岩手県宮古市	陸自:第9特科連隊等(約348t)
⑤	4月21日(土)	秋田県男鹿市	陸自:第21普通科連隊等(無し)
⑥	4月21日(土)~4月22日(日)	岩手県岩泉町	陸自:第9特科連隊等(自主派遣)
⑦	8月7日(火)~8月8日(水)	長野県大桑村	陸自:第13普通科連隊等(約355t)
⑧	1月3日(木)~1月4日(金)	群馬県安中市	陸自:第12旅団等(約550t)
⑨	1月23日(水)~1月25日(金)	埼玉県ときかわ町	陸自:第1師団等(約440t)
⑩	1月24日(木)~1月26日(土)	和歌山県田辺市	陸自:第37普通科連隊等(約120t)
⑪	3月24日(日)~3月25日(月)	埼玉県飯能市	陸自:第32普通科連隊等(無し)
⑫	3月25日(月)~3月26日(火)	栃木県足利市	陸自:第12特科隊等(約490t)



山林火災に係る災害派遣の活動状況

バケット装着準備①



バケット装着準備②



バケットへ取水



散水①



散水②



地上消火準備



特定家畜伝染病(豚コレラ)に係る災害派遣

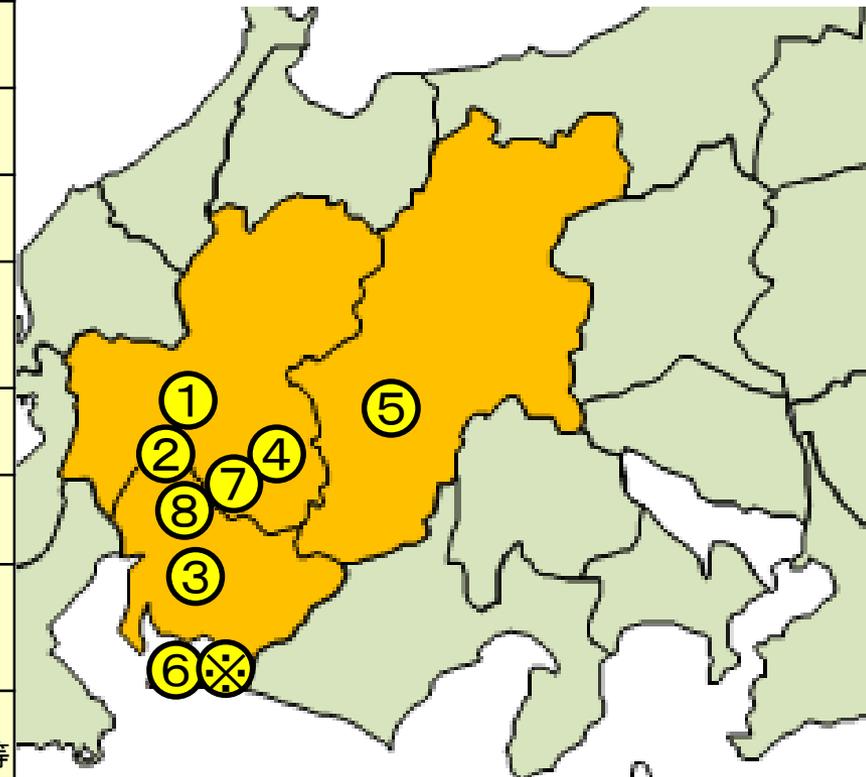
概要

- 平成30年9月9日(月)、岐阜県の養豚農場において、わが国では平成4年以来26年ぶりとなる豚コレラの発生が確認
- 平成30年12月25日(火)、岐阜県の養豚農場において豚コレラの発生が確認(国内6例目)され、岐阜県知事から第10師団長(守山)に対し、豚の殺処分の支援に係る災害派遣要請(自衛隊初の活動)
- 平成30年度は、岐阜県、愛知県及び長野県の3県において計8件の災害派遣活動を実施

主な内容

殺処分等の支援(豚舎内での豚の追い込み、殺処分した豚・餌等の運搬及び豚舎の消毒支援)

番号	実施時期	場所	活動部隊
①	12月25日(火)～ 12月27日(木)	岐阜県関市	陸自:第35普通科連隊(守山)等
②	1月29日(火)～ 1月30日(水)	岐阜県各務原市	陸自:第35普通科連隊(守山)等
③	2月6日(水)～ 2月9日(土)	愛知県豊田市	陸自:第10特科連隊(豊川)等
④	2月6日(水)～ 2月8日(金)	岐阜県恵那市	陸自:第35普通科連隊(守山) 第14普通科連隊(金沢) 第33普通科連隊(久居)等
⑤	2月6日(水)～ 2月8日(金)	長野県宮田村	陸自:第13普通科連隊(松本) 第306施設隊(松本)等
⑥	2月14日(木)～ 2月20日(水)	愛知県田原市	陸自:第10特科連隊(豊川) 第35普通科連隊(守山)等
⑦	2月19日(火)～ 2月21日(木)	岐阜県瑞浪市	陸自:第14普通科連隊(金沢) 第35普通科連隊(守山) 第33普通科連隊(久居)等
⑧	3月27日(水)～ 3月30日(土)	愛知県瀬戸市	陸自:第10通信大隊(守山) 第10特殊武器防護隊(守山)等
※	3月28日(木)～ 4月1日(月)	愛知県田原市	陸自:第10高射特科大隊(豊川) 第10特科連隊(豊川)等



※は4月に撤収要請があったため、集計は次年度

特定家畜伝染病(豚コレラ)に係る災害派遣の活動状況

殺処分の支援(追い込み)①



殺処分の支援(追い込み)②



餌等の回収



運搬支援①



運搬支援②



豚舎の防疫支援

